

技術研究会創立 10 周年をむかえて

杉 原 弘 人

技術研究会（技研）が 1960 年、探検部の 1 つのパートとして発足して以来 10 年になる。

技研は常に探検技術を錬磨し、探検部の中心的存在として活動をつづけてきた。1965 年、関西大学創立 80 年の記念事業の一環として、ペルー・アンデス学術調査隊が結成されると、山岳部と共に技研より米川、中野両君が参加し、アンデスのヒリシャンカ・ノルデ（6015M）をアタックし、サンタ・ローザ東峰（5578M）に初登頂した。

空気稀薄な高山での両君の活躍は技研 10 周年の歴史に大きい足跡をのこした。

昨年、ヒマラヤ登山が解禁となり日本より多数の登山隊がヒマラヤにむかったが、登頂成功のかけにはかならず犠牲者があった。私はペルー・アンデス学術調査隊の出発の時に催された壮行会で、隊員全員無事帰国をかたく誓った。幸、無事故で、立派な成果をあげ帰国したが、これは技研 OB を中心として、隊員一同が慎重に行動したことと、絶えまないトレーニングの贈物であると思っている。

今度、技研結成 10 周年を記念して、アラスカのヘイズ山群に登山隊が派遣された。この計画は技研としては最初の海外遠征であったが、無名の未登峰を含む 5 つの峰の登頂に成功し、全員無事帰国した。この成功を祝すとともに、今後とも技研の諸君が技術錬成に努力されることを希望する。この成果を基礎として、15 周年、20 周年には記念事業として、より大きい遠征隊が海外に派遣できるように技研の成長することを期待している。

（関西大学探検部部長
関西大学社会学部教授）